財政問題

問 職員等の村民要望への対応は
答 村民要望に100％お応えするのは難しい

松本　喜美人　議員

【職員等の村民要望への対応について】

問 村民要望への回答は「予算がない・金がない」。一方、基金造成・下水道問題・税金不納欠損額の増大等は村民には理解しがたい。村長の見解は。

村長 現在の基金残高は14億８千万円。大北の町村平均は21億円であり、健全財政上必要と考えます。未収金は滞納処分等を的確に行い、回収が見込めない債権は不納欠損処分して、財政計画を立案する必要があると考えます。要望に１００％応えるのは難しく、優先順位、災害等の危険度や地域バランスを考慮し、要望に応える予算配分を行っています。

【村有施設の維持管理について】

問 白馬北小学校の雪害被害に対する管理意識の徹底方策は。

村長 平成18・22年度に雪害修繕工事を実施していますが、事前の状況把握に不備があったと思われます。村有施設を大切にする危機管理意識の高揚を図ります。

問 スノーハープ入口看板の補修は。

村長 老朽化や日焼けで文字が確認できないものを、毎年順次改修に努めています。

スポーツ課長 本年は片面のみで、７月までには終了します。

【アベノミクスについて】

問 村基幹産業に与える効果は。

村長 株高傾向が続き個人所得・資産の増加により観光需要の増大を期待しており、円安はインバウンド事業に追い風となりますが、燃料や海外製品の価格上昇は経費の増大につながります。輸出関連企業を中心に国内経済が好転していて、その効果の地方波及を期待しています。

問 未収金の徴収業務への影響は。

村長 未収金は、村税７億６４７９万円、国保税６５００万円、上下水道使用料６１３５万円、下水道受益者負担金１９３４万円です。アベノミクス効果で観光客が増えることを期待しますが、円高による物価上昇のため徴収業務は厳しいと思われます。

【職員教育について】

問 全職員の危機管理意識が共有されているか。具体的事項は。

副村長 定例課長会議・課題検討課長会議等で情報共有化を図り、月２回の全体朝礼で村長の施政方針を伝えています。平成25年からの実施計画、下水道受益者負担金問題、駅前観光案内所、オリンピック記念館の移転やノルウェービレッジ、観光振興計画策定、新ごみ焼却場稼働に向けての課題について協議しています。

問 職員教育の実施状況は。

副村長 昨年度は、コンプライアンス研修を実施しました。

白馬クロスカントリー競技場　入口看板